

マーケットの動き（2023年4月3日～4月7日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。

週前半は10年・30年国債入札を控え、持ち高調整の売りが優勢となり長期金利は上昇基調となりました。海外金利の低下が続くと国内債券にも買い安心感が広がりましたが、日銀の金融政策修正観測がくすぶる中で債券売りの動きもあり、週後半に金利はほぼ横ばいのまま週を終えました。

クレジット市場は、投資家の慎重姿勢が続く中、売り買いまちまちの展開でした。

投資環境見通し（2023年4月）

国内長期金利は上昇圧力が高まりやすい

国内長期金利は、すでに賃上げを巡る報道が相次いでおり、インフレ率が賃上げに波及する流れに回帰する動きがみられる中、次期日銀総裁の下で初回となる金融政策決定会合を前に政策修正が意識される場面では、上昇圧力が高まりやすいとみています。ただし、世界的な金融システム不安が広がる中、政策修正には慎重との見方もあります。

	4月7日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.46	0.14	▲0.03	0.22	0.24
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	372.93	▲0.48%	1.16%	▲0.43%	▲1.74%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

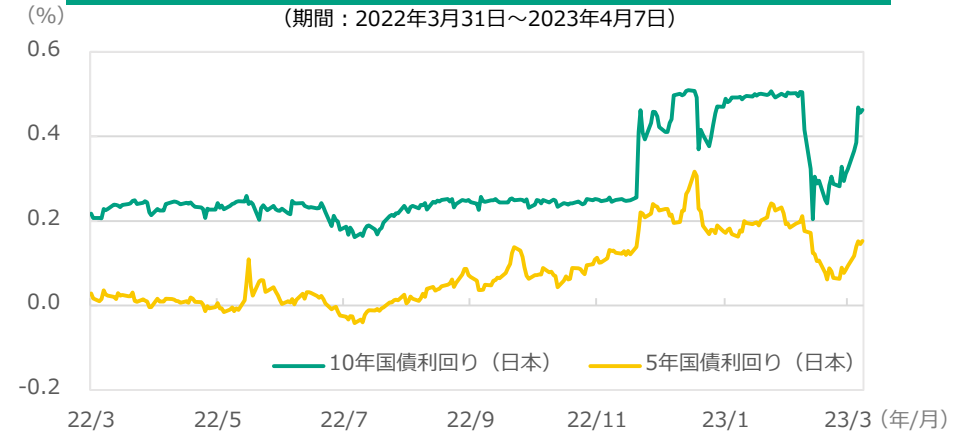
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202304_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移

（期間：2022年3月31日～2023年4月7日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2022年3月31日～2023年4月7日）



※2022年3月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成